

どうししゃだいがくせつりつ もくてき
同志社大学設立の目的
(子どものための現代語訳※)

めいじ ねん お ひと ころざし むね ひ じゅうねんいじょう ゆめ
明治7年の終わりに、一つの志を胸に秘めて、十年以上ものあいだ夢に
まで見た日本に帰国しました。そして、めいじ ねん がつ にち どうししゃえいがっこう せつりつ
しました。これが現在の同志社の始まりなのです。

せつりつ もくてき すす おうべい がくもん おし ひと
その設立の目的は、ただ進んだ欧米の学問を教えるだけではなく、人として
ただ 正しくあり、ひんせい たか なにごと ま せいしん も ひと そだ
品性を高め、何事にも負けない精神を持つようとする人を育てること
です。また、ただ ぎじゆつ さいのう ひと そだ
技術や才能のある人を育てることもありません。

わたし りょうしん しゆわん うんよう じんぶつ りょうしん
私たちは、「良心を手腕に運用する人物」、すなわち、良心をよりどころに
よ なか かつやく ひと おく だ きょういく たん
世の中で活躍する人を送り出そうとしてきました。このような教育は、単に
ちしき あた けつ たっせい
知識を与えるだけでは決して達成できません。

そのためには、きょう おし しん
キリスト教の教えによらなければならないと信じて、キリ
スト教 主義を基本に心 を育てることにしました。キリスト教では、ひたすら
かみ しん ほんとう ただ もと ほか ひと たちば た ものごと かんが こうどう
神を信じ、本当に正しいことを求め、他の人の立場に立って物事を考え行動す
るからです。

こくりつ だいがく よ なか やく た たし こくみんじしん て
国立の大学が世の中の役に立つことは確かです。けれども、国民自身の手で
つく 作られた私立大学こそが国民に大きな影響を与えると、わたし しん まな
人たちが自分らしさを発揮でき、そして、じりつ ひと そだ てん
自立した人を育てようとする点は、
これこそ私立大学が持っている強さなのです。

くに つく に さんにん えいゆう ちから きょういく
国を作っているのは、けっして二、三人の英雄の力ではありません。教育
ちしき ひんせい たか おお こくみん ちから くに つく
や知識や品性の高い多くの国民の力によって、国は作られるのです。このよう
ひと 一人たちは、いっこく りょうしん ひと わたし いっこく
「一国の良心」ともいべき人たちです。私たちはこの「一国の
りょうしん ひと そだ どうししゃ もくてき
良心」とよべる人たちを育てたいのです。同志社の目的は、まさにここにある
のです。

めいじ ねん がつ
明治21年11月
どうししゃだいがくほつきにん にいじま じょう
同志社大学発起人 新島 襄